

CASBEE® 広島

■使用評価マニュアル: CASBEE 広島 2016年版

┃使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

評価結果

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	修道中学校・修道高等学校本館建替	階数	地上3F
建設地	広島県広島市中区南千田東町1101	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域	平均居住人員	50 人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,500 時間/年(想定値)
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年8月 予定	評価の実施日	2022年4月8日
敷地面積	8,395 m ²	作成者	中村 達哉
建築面積	2,611 m ²	確認日	2022年4月10日
延床面積	5,044 m ²	確認者	中村 達哉



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.4 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (92 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 47% (43 kg-CO₂/年・m²)

③上記+②以外の 47%

④上記+ 47%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.5

LR のスコア = 3.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.5

3 広島市の重点項目

重点項目の総平均スコア = 3.5

「地球温暖化対策」の推進	「ヒートアイランド対策」の推進	「長寿化対策」の推進
スコア = 3.9	スコア = 2.3	スコア = 3.0
設計の計画段階に配慮した事項 ガラス面についてはLow-Eガラスを採用 // LED照明の採用 // 維持管理していくうえで、管理しやすいように材料を選定 /	設計の計画段階に配慮した事項 /	設計の計画段階に配慮した事項 /

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される